

在宅介護実態調査の結果における主な事項について

1. 施設等への入所・入居の検討状況について

【問1-(6)】 5ページ

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

「入所・入居は検討していない」と答えた人の割合が55.5%と最も多くなっている。

2. ご本人の傷病について

【問1-(7)】 6ページ

ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

認知症と回答している人の割合が44.3%と最も多くなっている。

3. 介護保険サービスを利用していない理由について

【問1-(10)】 10ページ

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

「本人にサービス利用の希望がない」と回答している人の割合が20.2%と最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と回答している人の割合が19.3%と多くなっている。

4. 在宅生活の継続に必要と感じる支援について

【問1-(12)】 12ページ

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」や「外出同行(通院・買い物など)」を希望している人の割合が大きい。

5. 主な介護者について

【問2-(1)】 14ページ

ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

主な介護者が過去1年の間に仕事を辞めたと回答した人の割合が全体の9.4%となっている。

【問2-(4)】 15ページ

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

主な介護者の方の年齢は、「60代」が最も多く32.0%となっている。次いで「70代」の主な介護者が25.6%と多くなっている。

【問2-(6)】 17ページ

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い・送迎等」、「日中の排泄」と回答した人の割合が大きくなっている。

6. 主な介護者の相談相手について

【問3-(3)】 23ページ

主な介護者が、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手について、ご回答ください。(複数回答可)

「ケアマネジャー」と答えた人の割合が81.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」と答えた人の割合が20.3%と多くなっている。「地域包括支援センター・役所」が11.4%で、「そのような人はいない」と答えた人の割合は5.7%となっている。

7. 在宅医療・介護について

【問4-(1)】 24ページ

将来、どのように暮らしたいと思いますか

「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」と回答した人の割合は47.8%と最も多くなっており、在宅での生活を希望している人の割合が高い。

【問4-(3)】 25ページ

ご自身が、終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか

「まったく話し合ったことがない」と答えた人の割合が48.3%と最も多くなっており、「詳しく話し合っている」又は「話し合ったことがある」と答えた「話し合いあり」の人の割合は43.1%となっている。

【問4-(4)】 25ページ

最期を過ごしたいと思う場所はどこですか

「自宅」と答えた人の割合が50.4%と最も多く、ここでも在宅での生活を希望している人の割合が高い。

在宅介護実態調査の結果について

1. 調査の目的

令和 5 年度に「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」を策定するにあたり、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討し、計画策定の基礎資料とすることを目的としている。

2. 調査の方法

	在宅介護実態調査
調査対象者	令和 4 年 9 月末時点における要介護認定者（要支援認定者、事業対象者は含まない）で、介護保険施設や認知症対応型共同生活介護など施設系サービスを利用していない人
調査方法	郵送による配布・回答
配布数	1, 0 5 2 件
回収数（回収率）	5 6 9 件（5 4. 1 %）
調査期間	令和 4 年 1 2 月 7 日～令和 5 年 1 月 1 6 日

3. 調査結果の表示方法

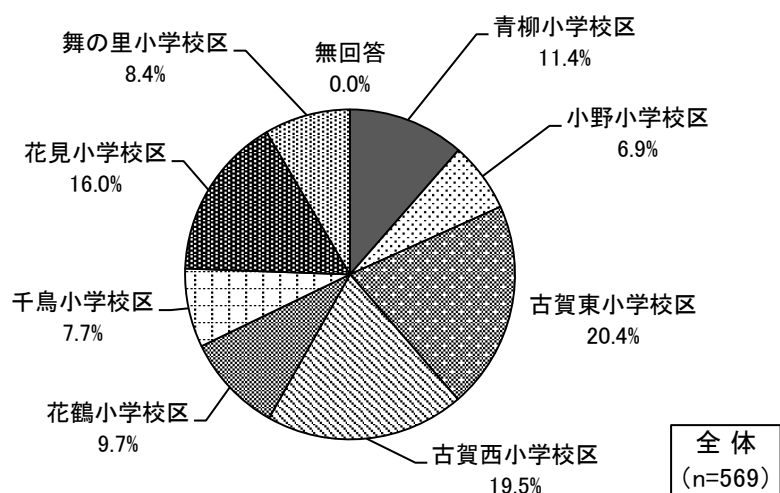
- ◇回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。
- ◇複数回答が可能な質問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100%を超える。
- ◇数表中の「－」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。
- ◇文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち 2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。

4. 標本の構成

(%)

	標本数	世帯類型				調査対象者の性別			調査対象者の年齢								
		単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答	男性	女性	無回答	65歳未満	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳以上	無回答	
全体	569 100.0	162 28.5	169 29.7	219 38.5	19 3.3	197 34.6	368 64.7	4 0.7	14 2.5	19 3.3	43 7.6	67 11.8	109 19.2	130 22.8	181 31.8	6 1.1	
小学校区別	青柳小学校区	65	33.8	26.2	35.4	4.6	30.8	69.2	-	1.5	1.5	4.6	18.5	12.3	23.1	38.5	-
	小野小学校区	39	38.5	17.9	43.6	-	30.8	69.2	-	-	5.1	5.1	5.1	30.8	28.2	25.6	-
	古賀東小学校区	116	28.4	31.0	37.9	2.6	33.6	64.7	1.7	3.4	1.7	4.3	9.5	20.7	27.6	31.0	1.7
	古賀西小学校区	111	39.6	19.8	36.9	3.6	32.4	66.7	0.9	1.8	1.8	10.8	6.3	15.3	25.2	37.8	0.9
	花鶴小学校区	55	20.0	30.9	45.5	3.6	36.4	63.6	-	3.6	3.6	3.6	12.7	18.2	18.2	38.2	1.8
	千鳥小学校区	44	18.2	38.6	36.4	6.8	34.1	65.9	-	-	9.1	9.1	11.4	18.2	22.7	27.3	2.3
	花見小学校区	91	20.9	36.3	39.6	3.3	39.6	59.3	1.1	-	3.3	7.7	19.8	26.4	18.7	23.1	1.1
	舞の里小学校区	48	20.8	41.7	35.4	2.1	39.6	60.4	-	10.4	6.3	16.7	10.4	12.5	14.6	29.2	-
			要介護度														
	標本数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答							
全体	569 100.0	24 4.2	28 4.9	120 21.1	169 29.7	97 17.0	62 10.9	48 8.4	7 1.2	14 2.5							
小学校区別	青柳小学校区	65	1.5	4.6	20.0	27.7	24.6	3.1	10.8	3.1	4.6						
	小野小学校区	39	-	10.3	20.5	30.8	23.1	10.3	5.1	-	-						
	古賀東小学校区	116	6.0	2.6	22.4	29.3	19.0	9.5	6.0	1.7	3.4						
	古賀西小学校区	111	4.5	5.4	20.7	35.1	10.8	11.7	9.9	0.9	0.9						
	花鶴小学校区	55	3.6	7.3	16.4	25.5	20.0	14.5	10.9	1.8	-						
	千鳥小学校区	44	4.5	4.5	18.2	18.2	22.7	9.1	15.9	-	6.8						
	花見小学校区	91	5.5	6.6	22.0	30.8	8.8	15.4	6.6	1.1	3.3						
	舞の里小学校区	48	4.2	-	27.1	33.3	18.8	12.5	4.2	-	-						

◎住まいの小学校区



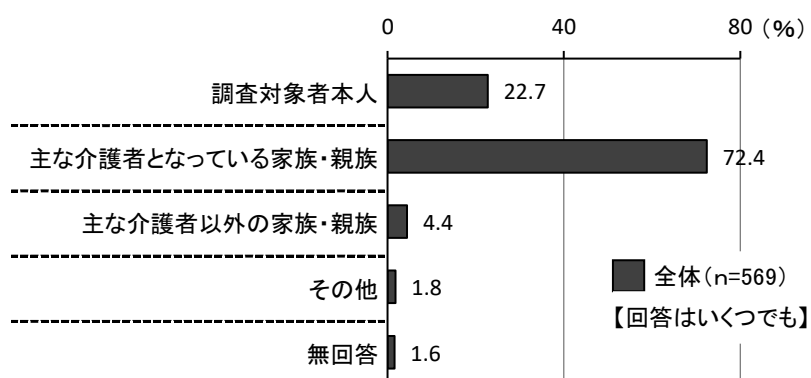
個別設問結果

1. 調査対象者について

(1) 回答者

問1(1) 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

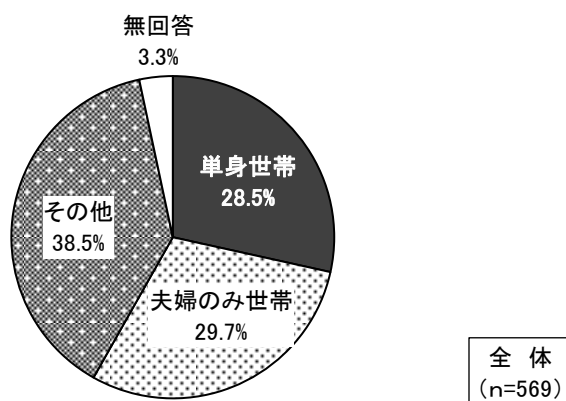
調査票への回答は「主な介護者となっている家族・親族」が72.4%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が22.7%となっている。



(2) 世帯類型

問1(2) 世帯について、ご回答ください（1つを選択）

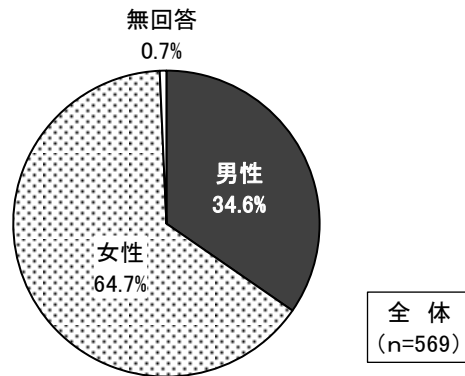
調査対象者の世帯は「その他」が38.5%、「夫婦のみの世帯」が29.7%、「単身世帯」が28.5%となっている。



(3) 対象者の性別

問1(3) ご本人の性別について、ご回答ください(1つを選択)

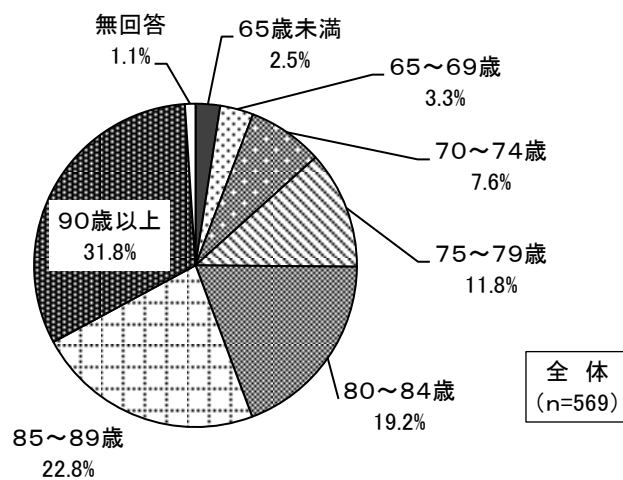
調査対象者の性別は「男性」が34.6%、「女性」が64.7%である。



(4) 対象者の年齢

問1(4) ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

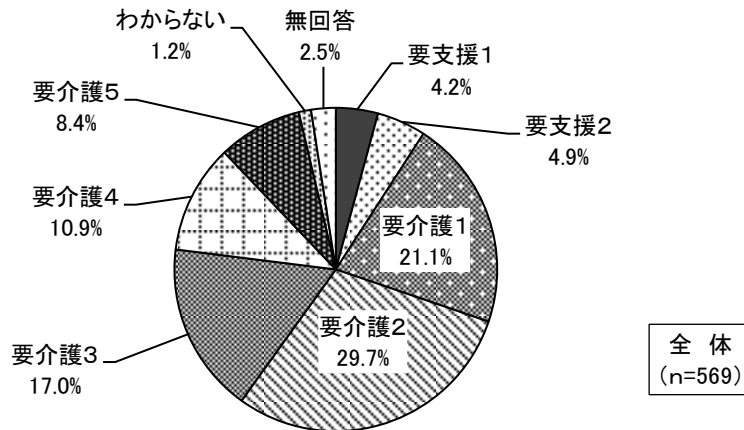
調査対象者の年齢は「90歳以上」が31.8%と最も多く、次いで「85～89歳」が22.8%、「80～84歳」が19.2%、「75～79歳」が11.8%などとなっている。



(5) 対象者の要介護度

問1(5) ご本人の要介護度について、ご回答ください(1つを選択)

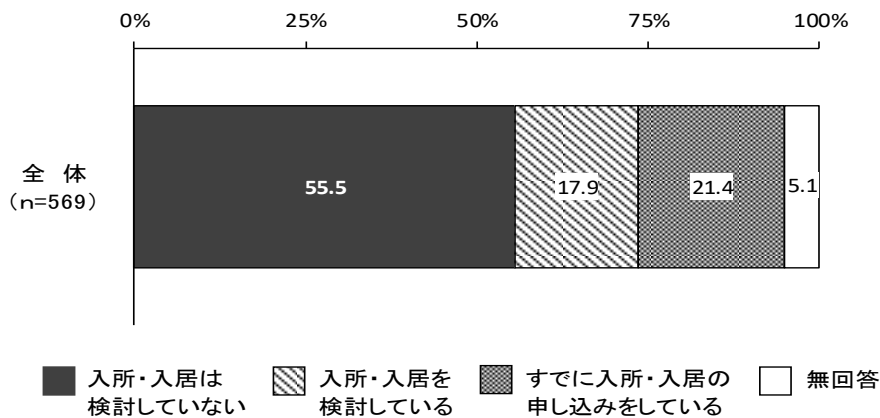
調査対象者の要介護度は「要介護2」が29.7%と最も多く、次いで「要介護1」が21.1%、「要介護3」が17.0%、「要介護4」が10.9%、「要介護5」が8.4%となっている。「要支援1」は4.2%、「要支援2」は4.9%である。



(6) 施設等への入所・入居の検討状況

問1(6) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

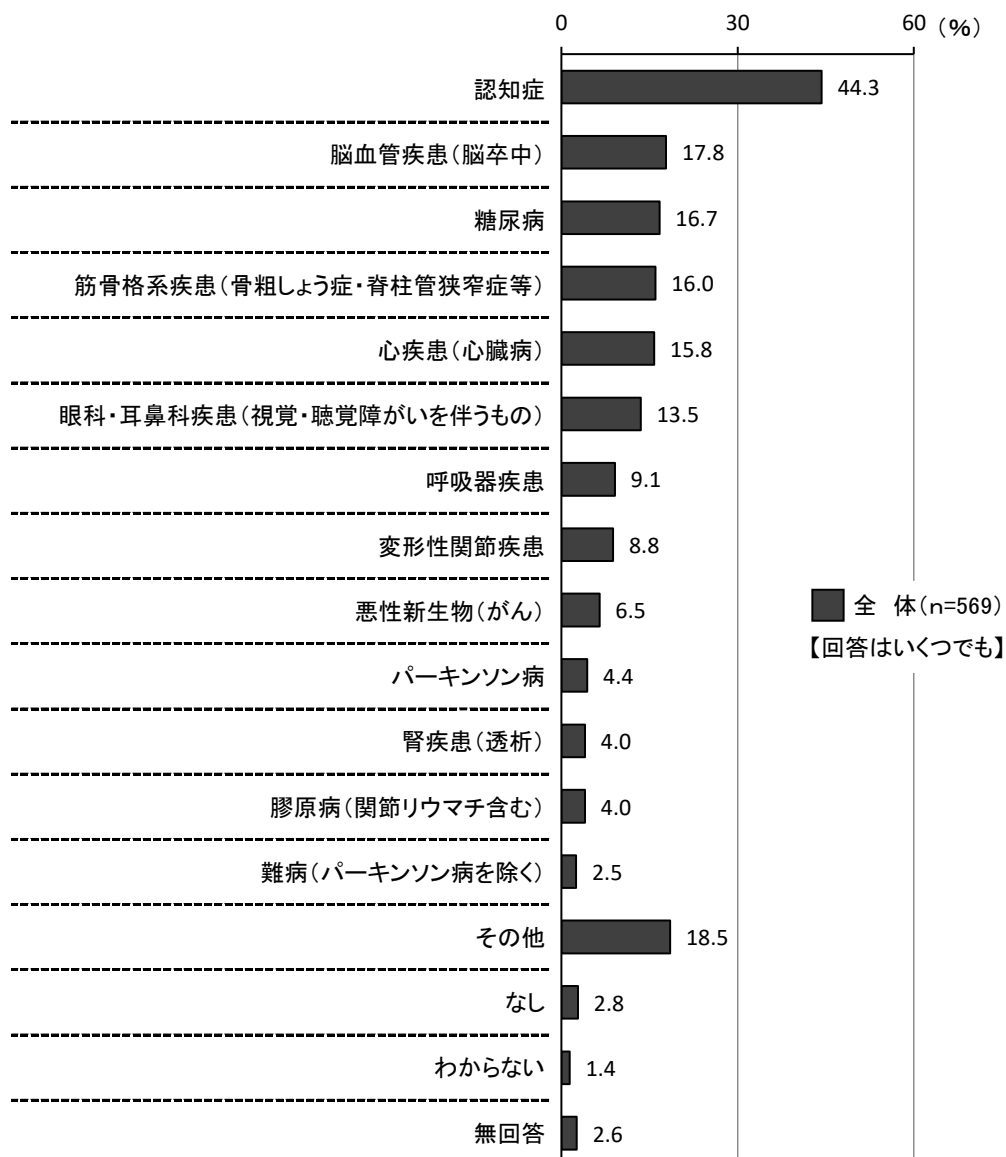
施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が55.5%、「入所・入居を検討している」が17.9%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が21.4%となっている。



(7) 対象者が現在抱えている傷病

問1(7) ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

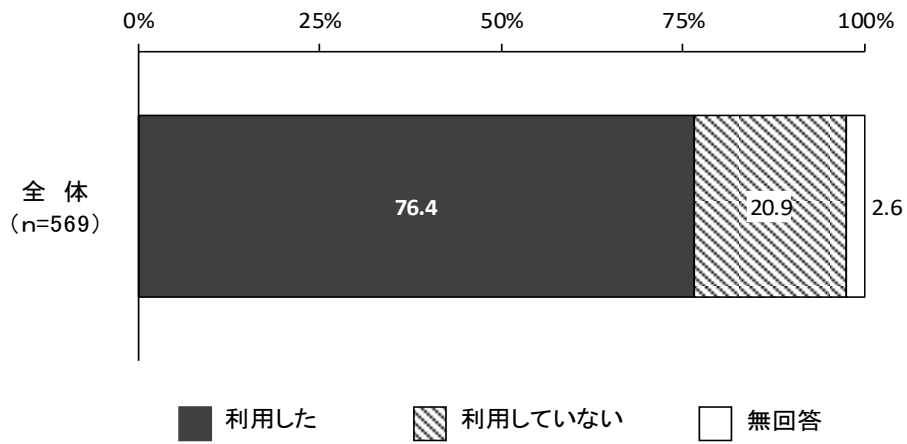
調査対象者が現在抱えている傷病は「認知症」が44.3%と最も高く、次いで「脳血管疾患(脳卒中)」が17.8%、「糖尿病」が16.7%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等)」が16.0%、「心疾患(心臓病)」が15.8%などとなっている。



(8) 介護保険サービスの利用状況

問1(8) 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

介護保険サービスの利用について、「利用した」が76.4%、「利用していない」が20.9%である。

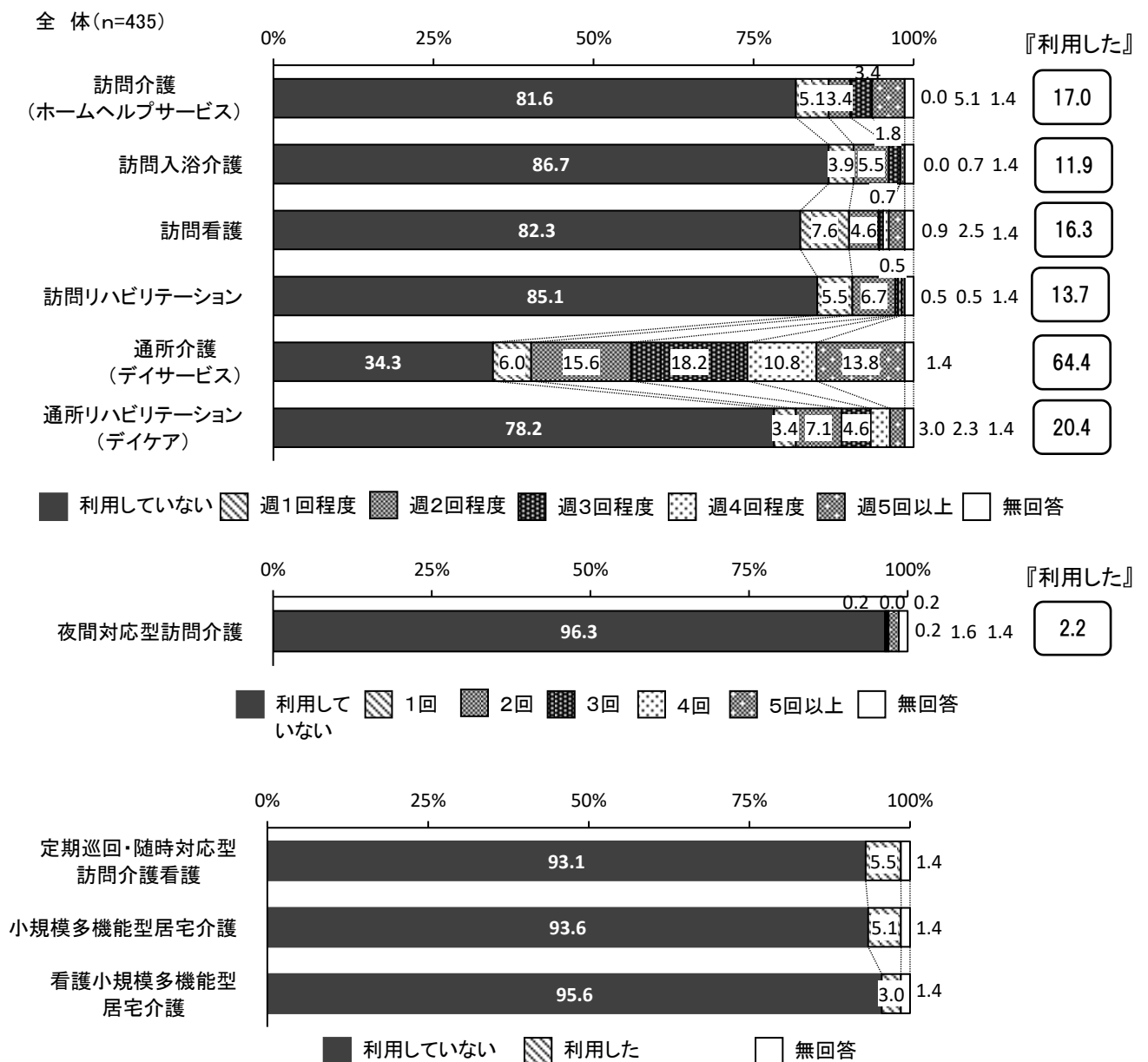


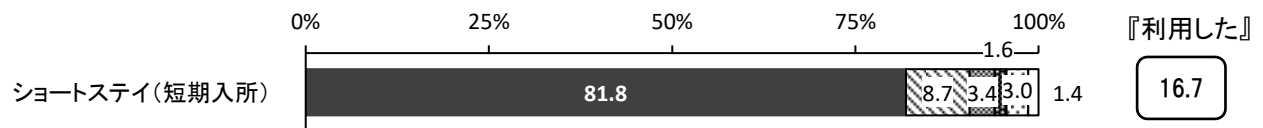
(9) 介護保険サービスの利用回数

問1(9) 問1(8)で「1.」と回答した方にお伺いします。

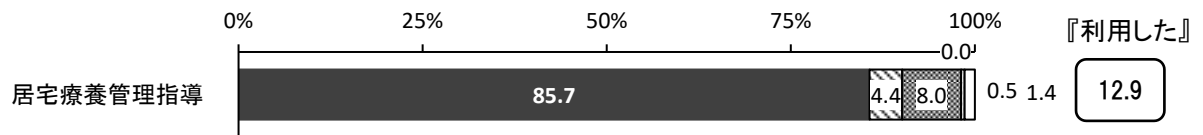
以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください(それぞれ1つに○)

令和4年11月の1か月間の介護保険サービスの利用回数について、「通所介護(デイサービス)」は「週3回程度」が18.2%、「週2回程度」が15.6%、「週5回以上」が13.8%などと利用のあった割合を合わせた『利用した』が64.4%と最も多い。次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」が20.4%、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が17.0%、「ショートステイ(短期入所)」が16.7%、「訪問看護」が16.3%となっている。





利用していない
 月1~7日程度
 月8~14日程度
 月15~21日程度
 月22日以上
 無回答



利用していない
 月1回程度
 月2回程度
 月3回程度
 月4回程度
 無回答

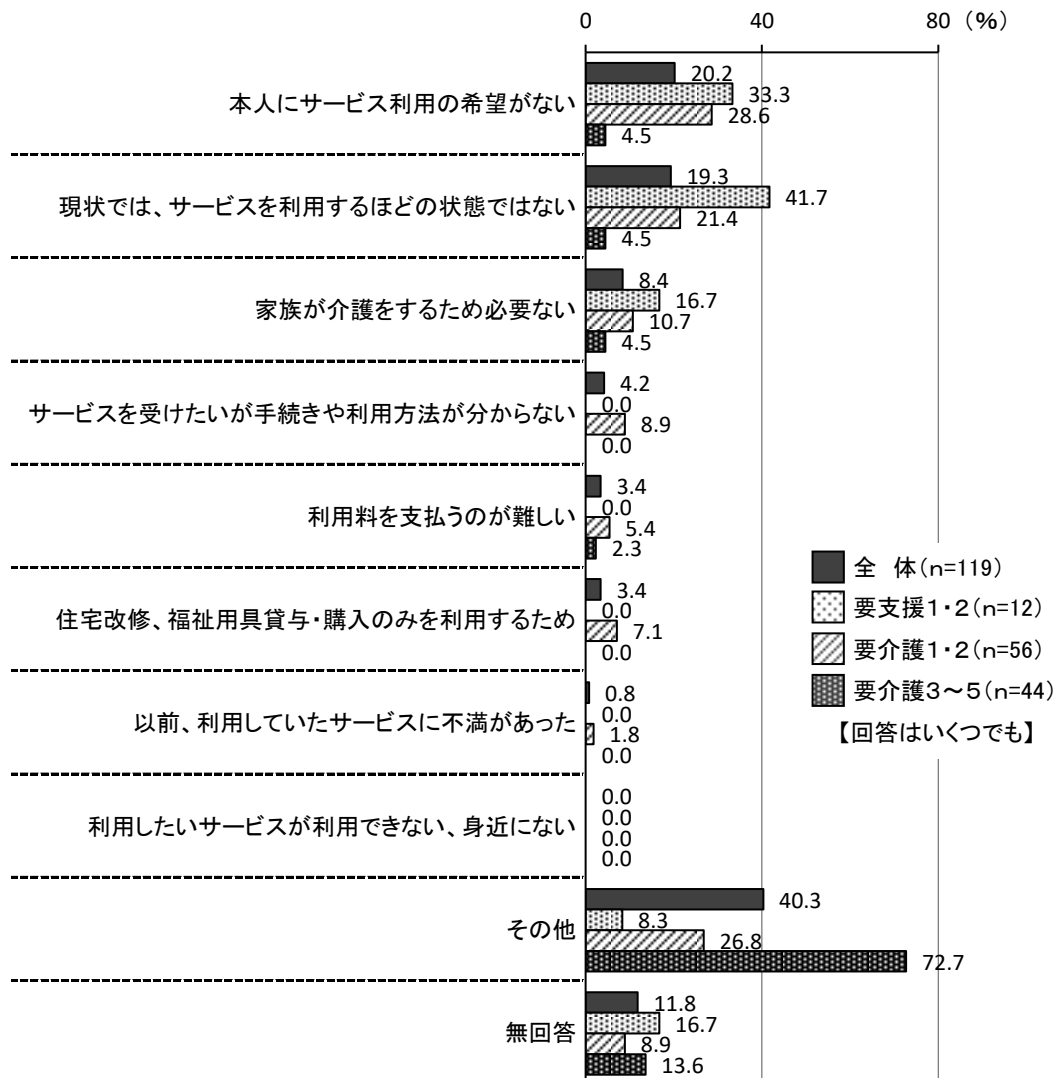
(10) 介護保険サービスを利用していない理由

問1(10) 問1(8)で「2.」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が20.2%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が19.3%となっている。

要介護度別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.7%と最も高い。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が28.6%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が21.4%となっている。また「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が「要介護1・2」で8.9%ある。「要介護3～5」で「その他」が72.7%あるが、「入院中」がほとんどである。

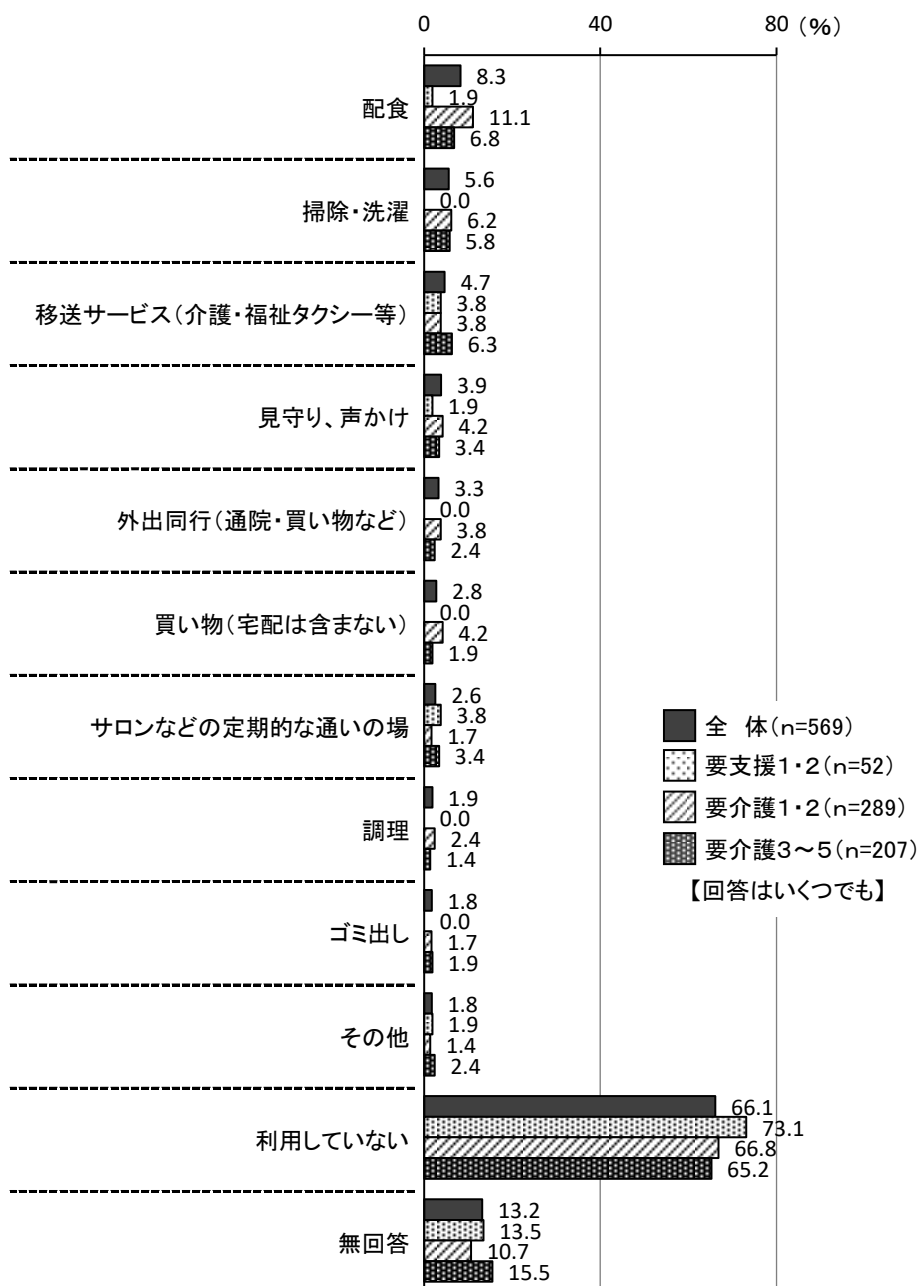


(11) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

問 1 (11) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて
 ご回答ください（複数選択可）

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が 66.1%と最も高い。利用しているサービスでは「配食」が 8.3%、「掃除・洗濯」が 5.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 4.7%である。

要介護度別にみると、いずれの介護度でも「利用していない」が 6 割を超えているが、特に「要支援 1・2」では 73.1%と最も高い。「要介護 1・2」では「配食」（11.1%）や「掃除・洗濯」（6.2%）、「要介護 3～5」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.3%）の利用が多い。

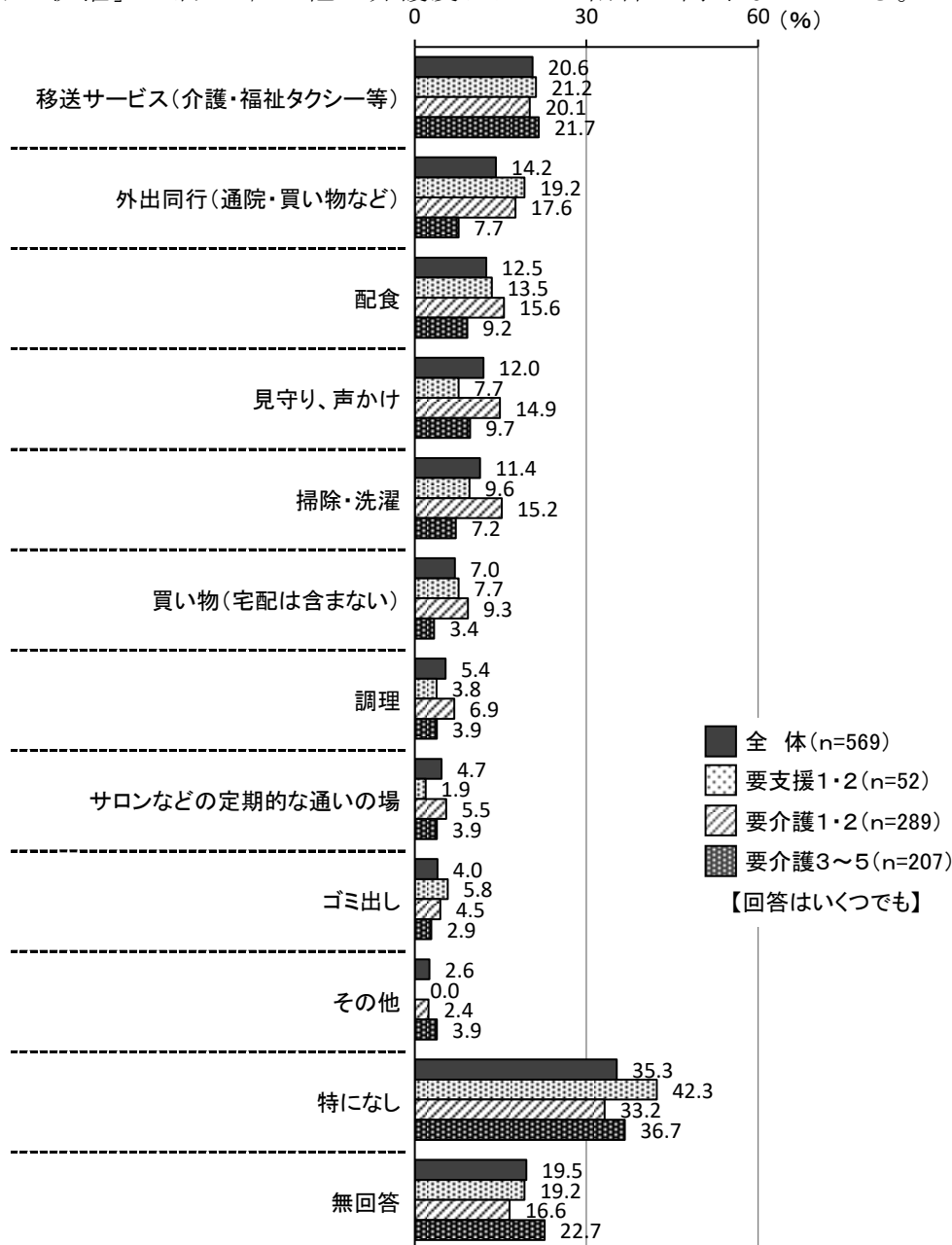


(12) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問1(12) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.6%、「外出同行（通院・買い物など）」が14.2%、「配食」が12.5%、「見守り、声かけ」が12.0%、「掃除・洗濯」が11.4%となっている。「特になし」は35.3%である。

要介護度別にみると、いずれの介護度でも「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は2割を超えて高い。その他「要支援1・2」と「要介護1・2」では「外出同行（通院・買い物など）」が18%前後、「配食」が14%前後、「要介護1・2」では「見守り、声かけ」「掃除・洗濯」が約15%と他の介護度に比べて割合が高くなっている。

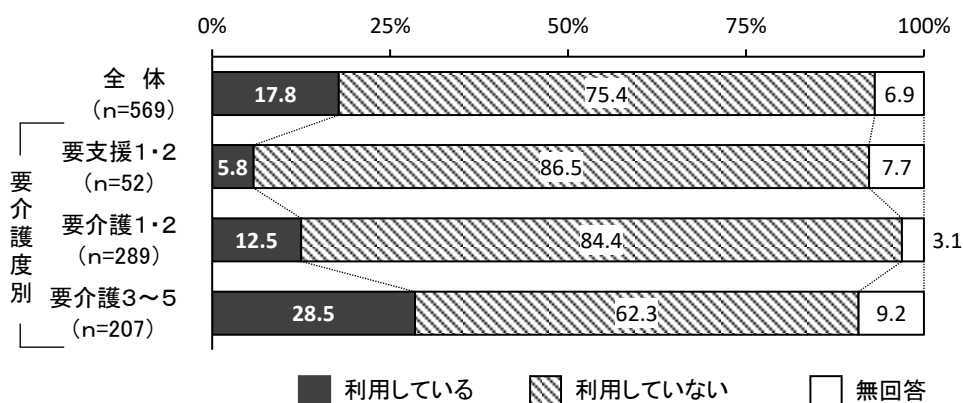


(13) 訪問診療の利用状況

問1(13) ご本人(調査対象者)は現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

訪問診療の利用について、「利用している」が17.8%、「利用していない」が75.4%となっている。

要介護度別にみると、「利用している」は「要支援1・2」が5.8%、「要介護1・2」が12.5%、「要介護3～5」が28.5%と介護度が上がるにつれ「利用している」の割合が高くなっている。

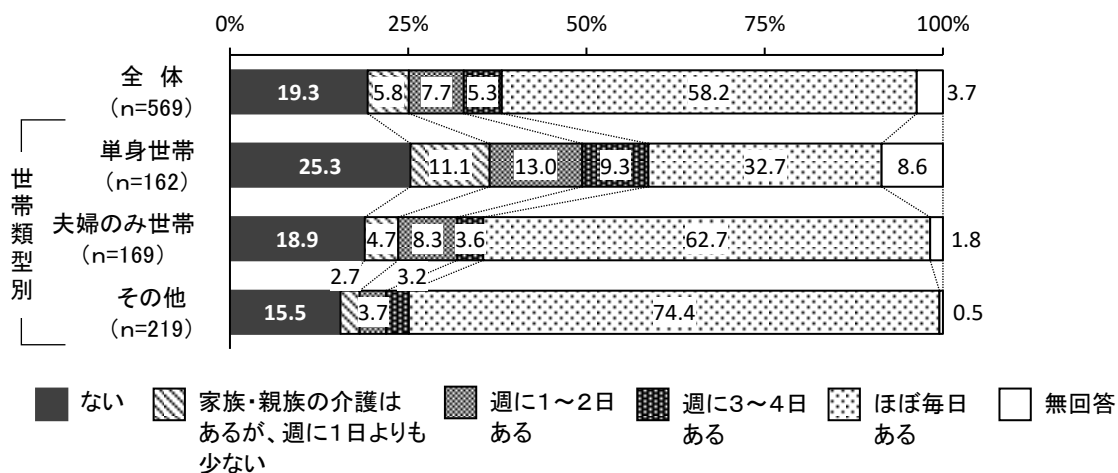


(14) 家族からの介護の状況

問1(14) ご家族やご親戚の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

家族や親戚からの介護の状況について、「ほぼ毎日ある」が58.2%と最も高く、「ない」が19.3%である。

世帯類型別にみると、「単身世帯」で「ない」が25.3%と他の世帯に比べて割合が高い。「夫婦のみの世帯」「その他」の世帯では「ほぼ毎日ある」は6割を超えている。

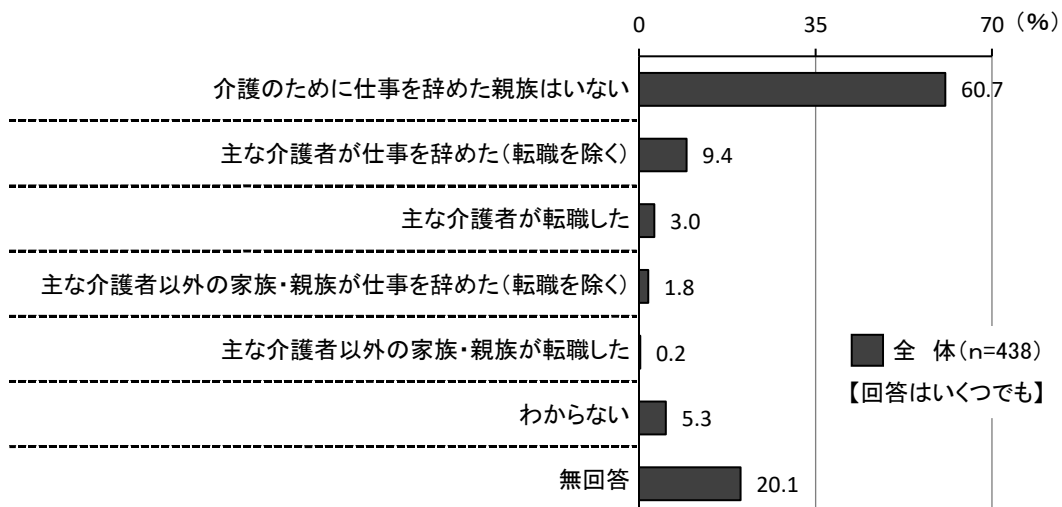


2. 主な介護者について

(1) 介護を理由とした退職の有無

問2(1) ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

家族や親戚の中で、介護を主な理由として過去1年間に仕事を辞めた人の有無について、「介護のために仕事を辞めた親族はいない」が60.7%と最も多い。「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」は9.4%、「主な介護者が転職した」は3.0%である。

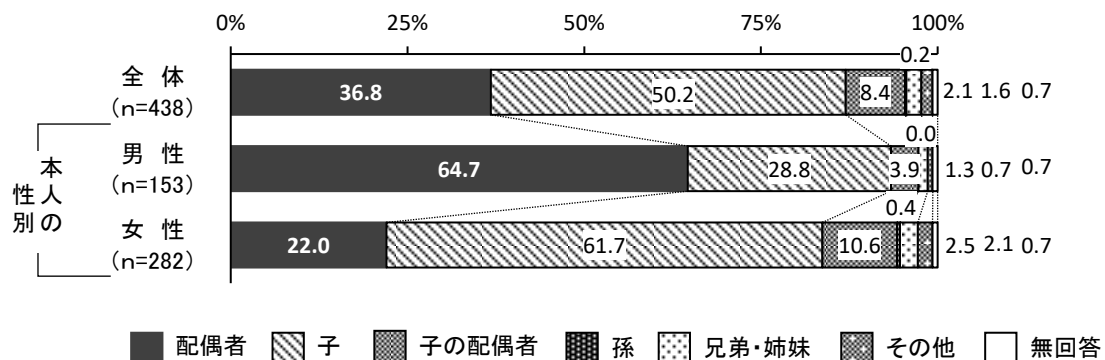


(2) 主な介護者の続柄

問2(2) 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

主な介護者は「子」が50.2%と最も多く、次いで「配偶者」が36.8%、「子の配偶者」が8.4%となっている。

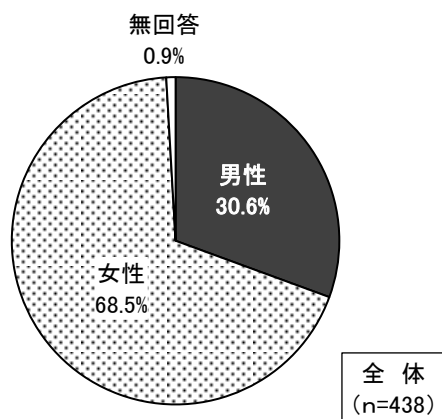
調査対象者本人の性別にみると、「男性」は「配偶者」(64.7%)、「女性」は「子」(61.7%)の割合が高い。



(3) 主な介護者の性別

問2(3) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

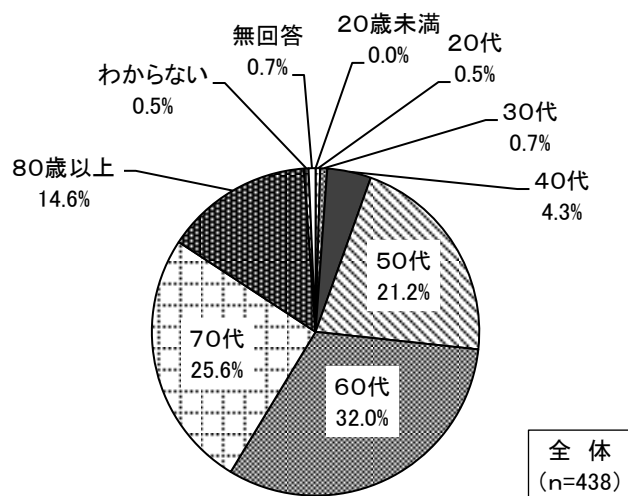
主な介護者の性別は、「男性」が30.6%、「女性」が68.5%となっている。



(4) 主な介護者の年齢

問2(4) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

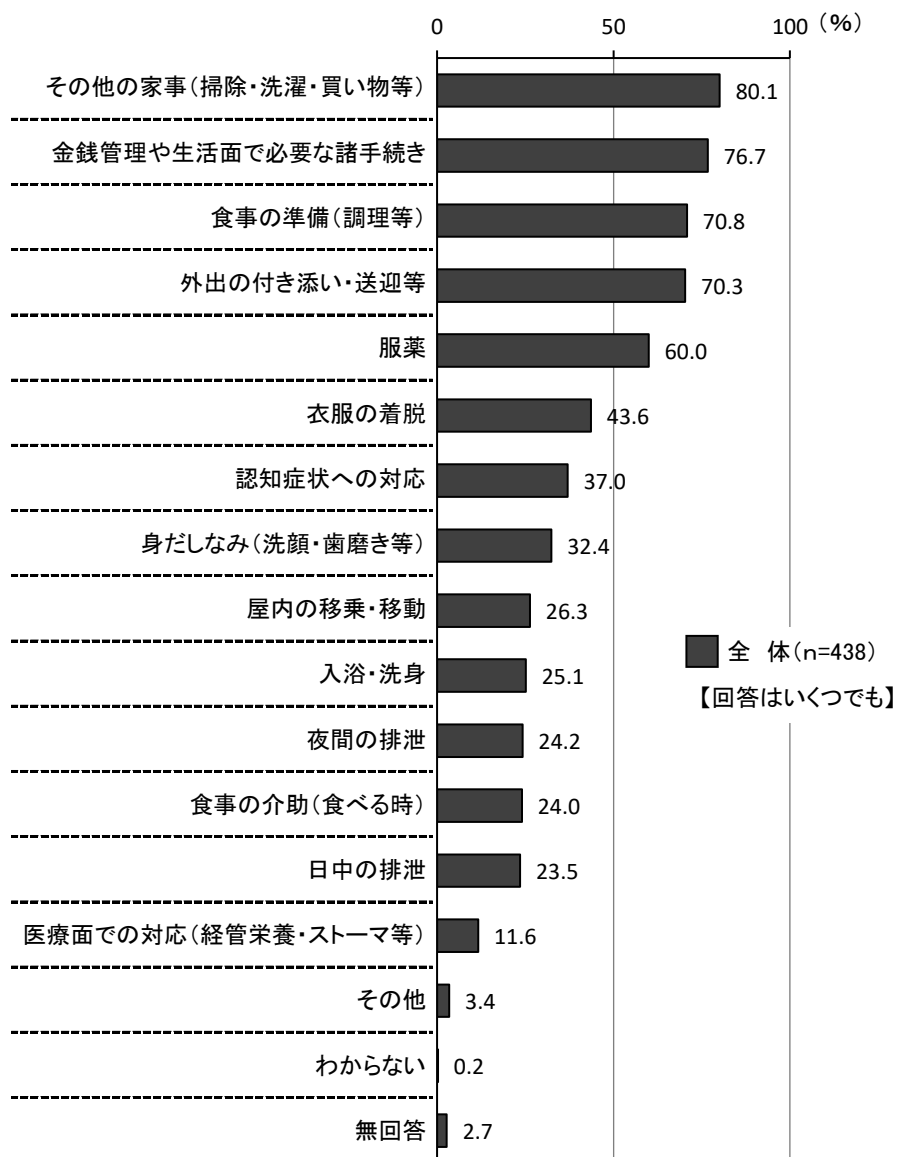
主な介護者の年齢は、「60代」が32.0%と最も多く、次いで「70代」が25.6%、「50代」が21.2%、「80歳以上」が14.6%となっている。



(5) 主な介護者が行っている介護等

問2(5) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

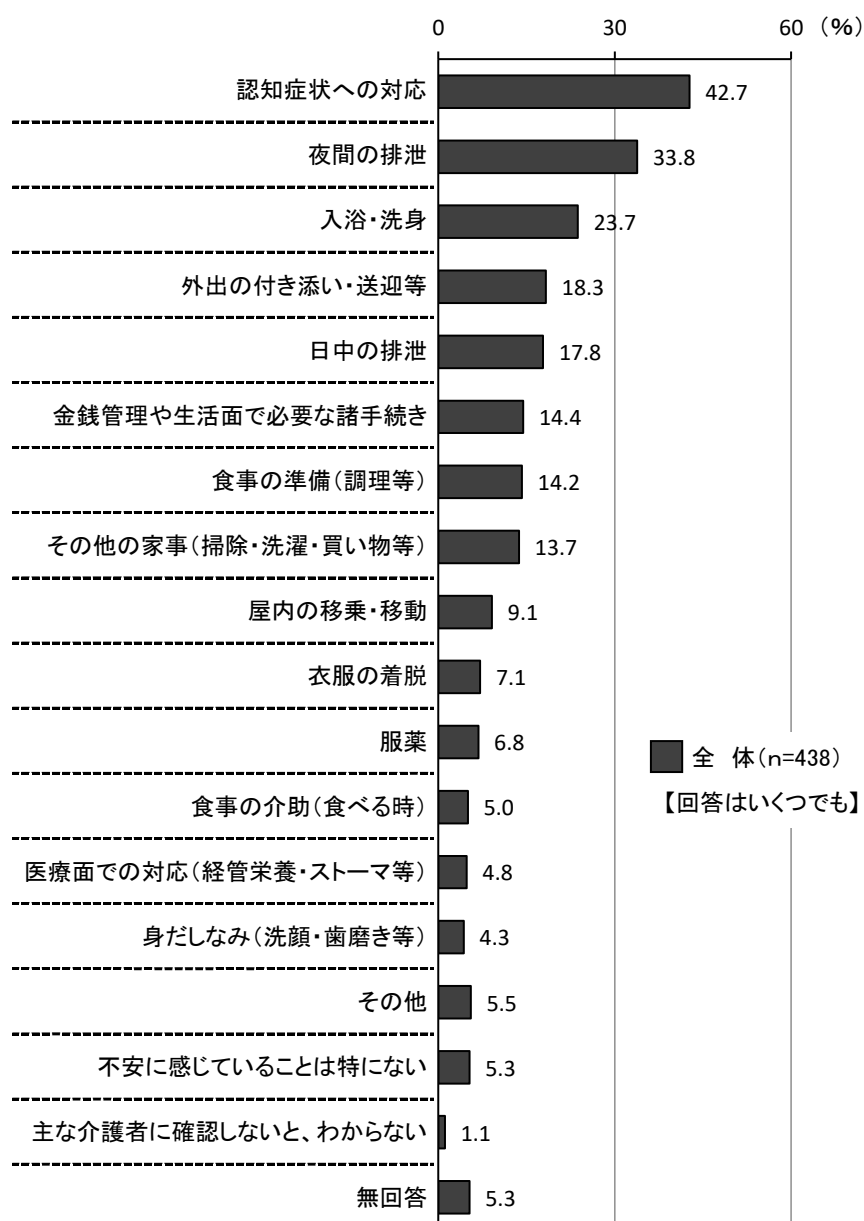
主な介護者が行っている介護は、「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」が80.1%、「金銭管理や生活面で必要な諸手続き」が76.7%、「食事の準備(調理等)」が70.8%、「外出の付き添い・送迎等」が70.3%、「服薬」が60.0%と多岐にわたっている。



(6) 主な介護者が不安を感じる介護等

問2(6) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

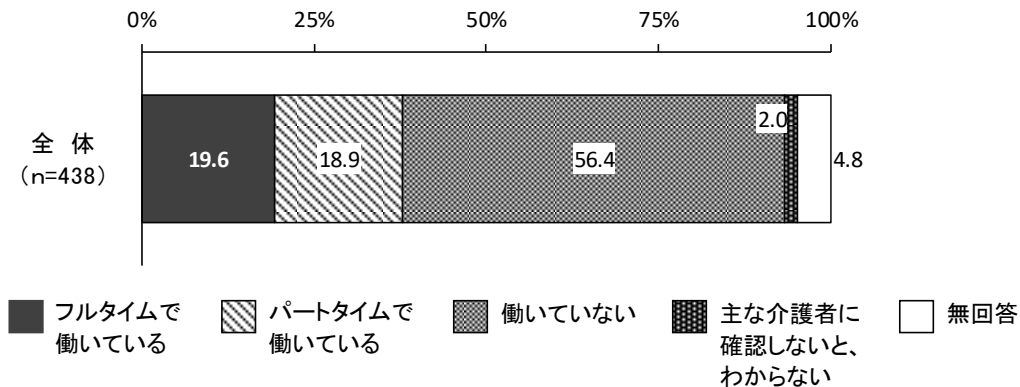
主な介護者が不安を感じる介護は、「認知症状への対応」が 42.7%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が 33.8%、「入浴・洗身」が 23.7%、「外出の付き添い・送迎等」が 18.3%、「日中の排泄」が 17.8%となっている。



(7) 主な介護者の勤務形態

問2(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が56.4%、「フルタイムで働いている」が19.6%、「パートタイムで働いている」が18.9%となっている。

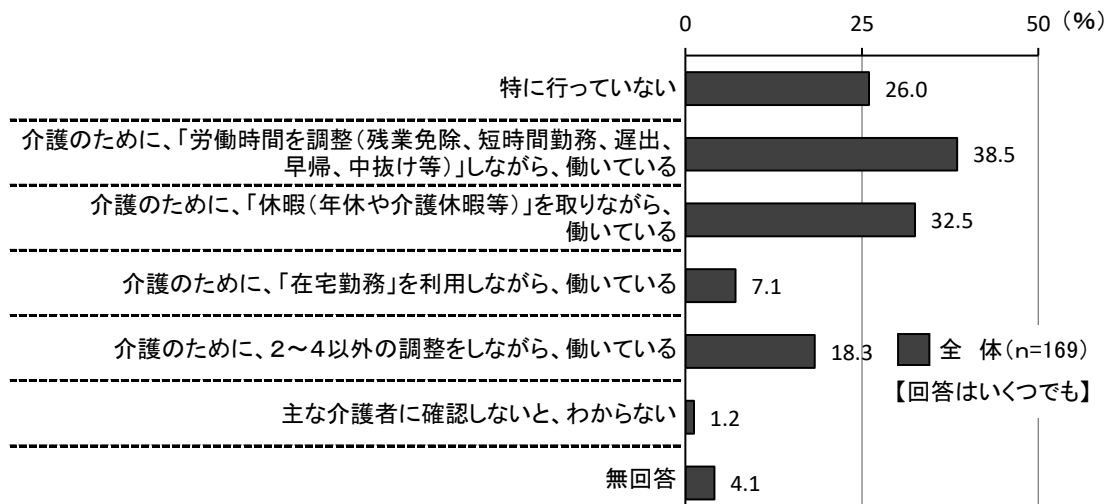


(8) 働き方の調整の有無

問2(8) 問2(7)で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

主な介護者が働きながら介護をするにあたり、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等)」しながら、働いている」が38.5%で最も高く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が32.5%と労働時間の調整、休暇を取りながら介護を行っている場合が多い。「特に行っていない」は26.0%である。

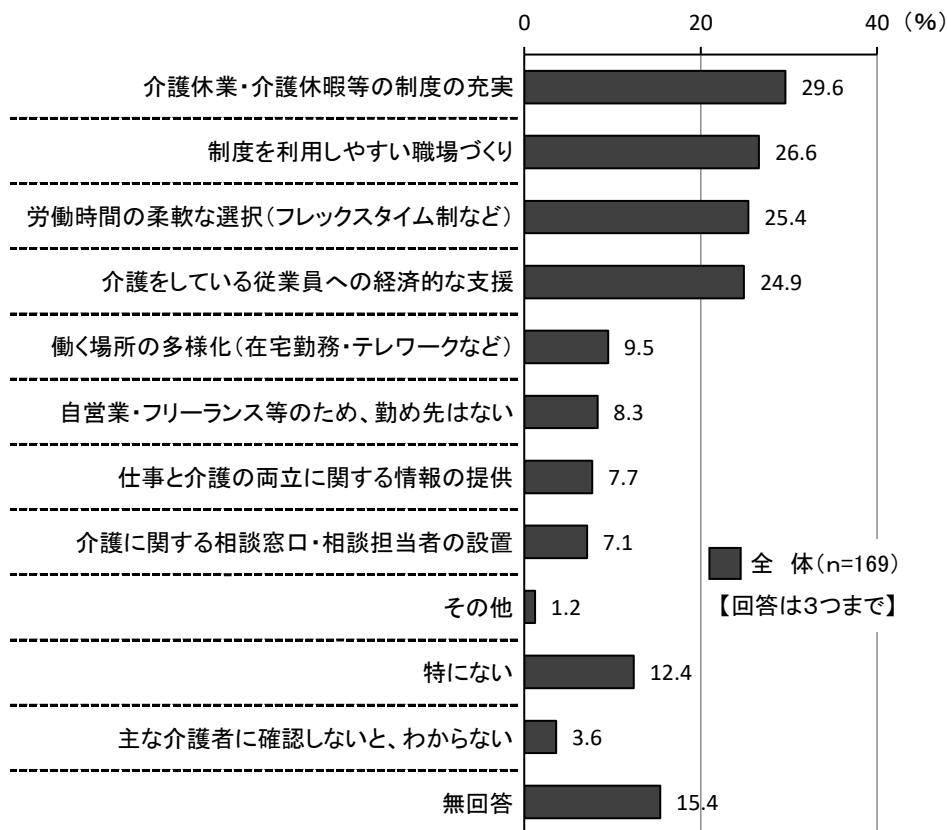


(9) 仕事と介護の両立に効果があると感じる支援策

問2(9) 問2(7)で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

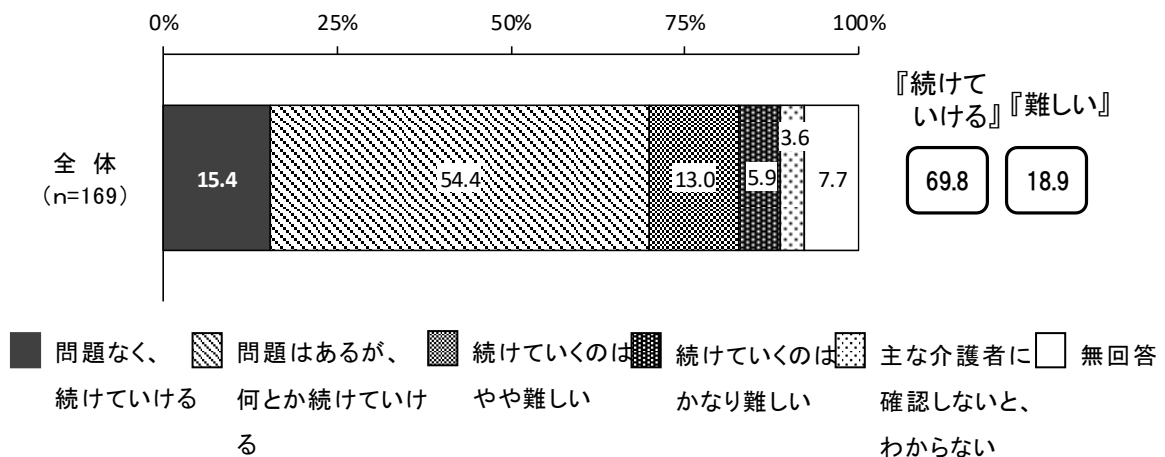
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.6%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が25.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.9%で上位にあげられている。



(10) 働きながら介護を続けることについて

問2 (10) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
(1つを選択)

今後も働きながら介護を続けていくことについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.4%と最も多く、これに「問題なく、続けていける」(15.4%)を合わせた『続けていける』は69.8%である。「続けていくのは、やや難しい」は13.0%で、これに「続けていくのは、かなり難しい」(5.9%)を合わせた『難しい』は18.9%である。

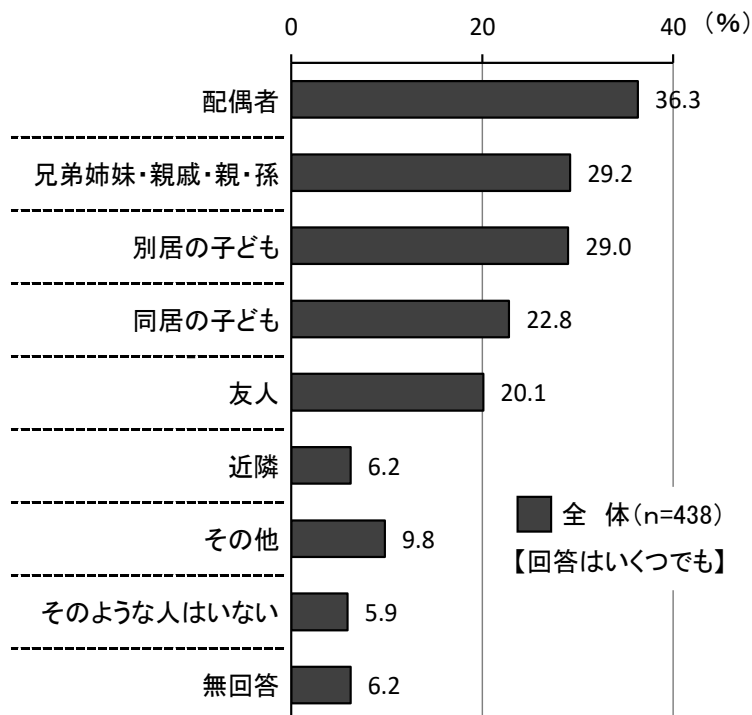


3. 主な介護者の相談相手について

(1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人

問3 (1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人について、ご回答ください
(複数選択可)

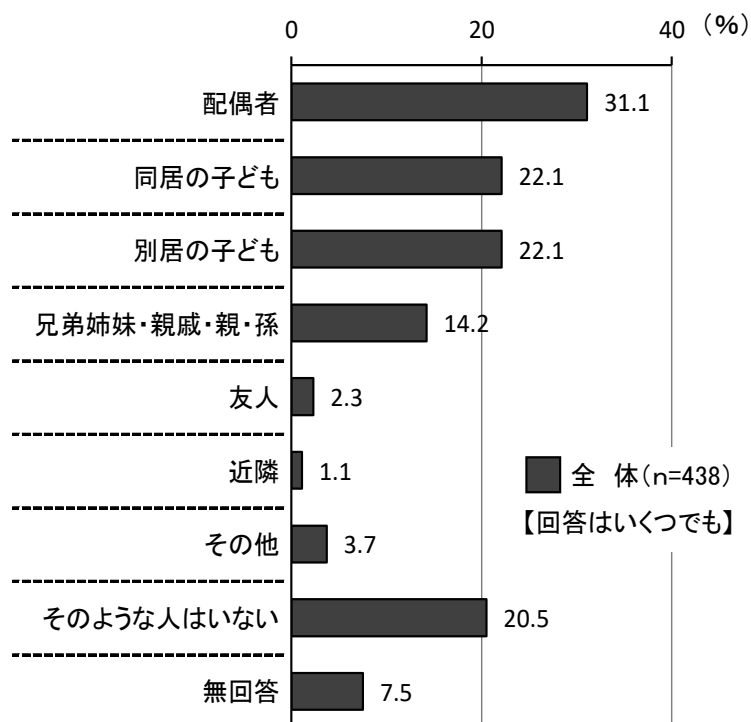
主な介護者の心配事をきいてくれる人は「配偶者」が36.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.2%、「別居の子ども」が29.0%となっている。「そのような人はいない」は5.9%である。



(2) 主な介護者が病気で寝込んだときに看病をしてくれる人

問3(2) 主な介護者が病気で数日間寝込んだときに看病をしてくれる人について、
ご回答ください(複数選択可)

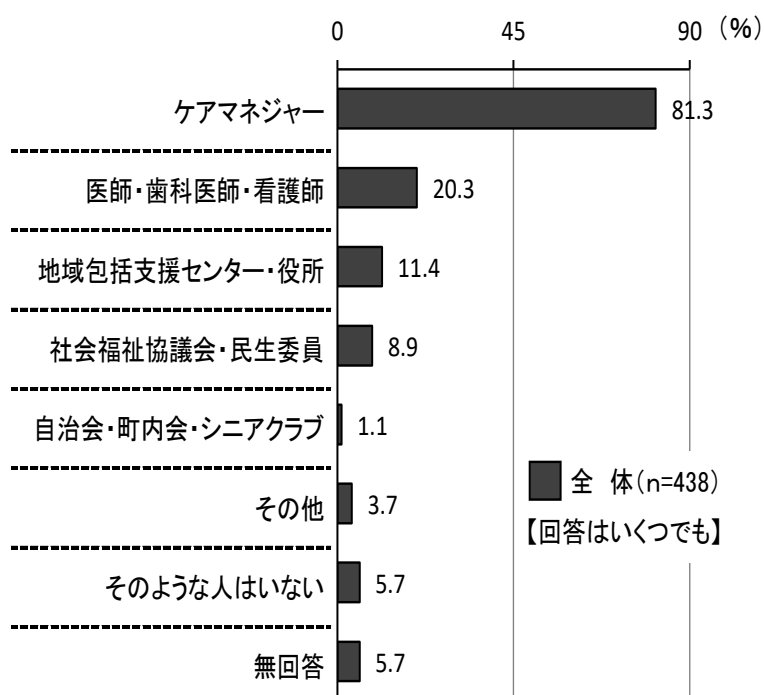
主な介護者が病気で寝込んだときに看病をしてくれる人は、「配偶者」が31.1%、「同居の子ども」と「別居の子ども」が同率の22.1%となっている。「そのような人はいない」は20.5%である。



(3) 主な介護者が家族・友人・知人以外で相談する相手

問3(3) 主な介護者が、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手について、ご回答ください(複数選択可)

主な介護者が家族や友人・知人以外で相談する相手は「ケアマネジャー」が81.3%と最も多い。次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.3%、「地域包括支援センター・役所」が11.4%となっている。「そのような人はいない」は5.7%である。

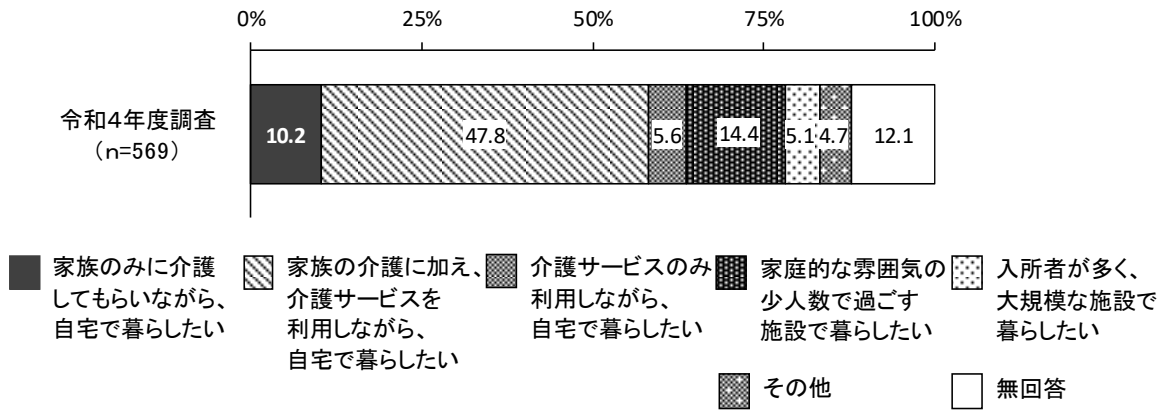


4. 調査対象者の在宅医療・介護の希望について

(1) 将来、希望する暮らし方

問4(1) 将来、どのように暮らしたいと思いますか(1つを選択)

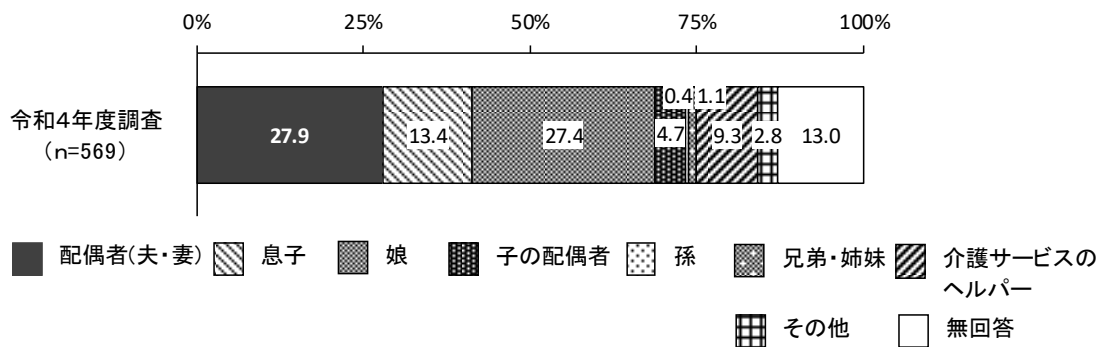
調査対象者が将来、希望する暮らし方は、「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が47.8%と最も高い。



(2) 自宅で介護を受ける場合に希望する介護者

問4(2) 自宅で介護を受ける場合、誰に介護を頼みたいですか(1つを選択)

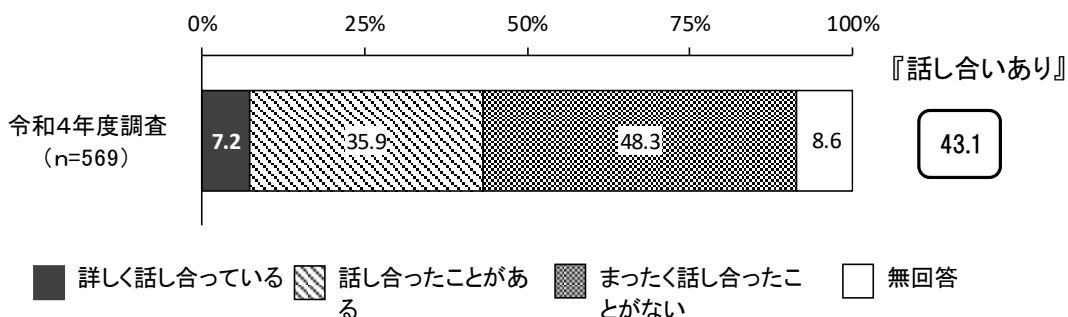
自宅で介護を受ける場合に希望する介護者は、「配偶者」(27.9%)と「娘」(27.4%)が3割弱で同程度となっている。



(3) 終末期医療に関する話し合いの有無

問4(3) あなたは、ご自身が終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか(1つを選択)

終末期医療に関する家族の話し合いについて、「まったく話し合ったことがない」が48.3%と最も多く、次いで「話し合ったことがある」が35.9%、「詳しく話し合っている」が7.2%である。



(4) 最期を過ごしたい場所

問4(4) あなたが最期を過ごしたいと思う場所はどこですか(1つを選択)

最期を過ごしたい場所は、「自宅」が50.4%と最も多く、次いで「わからない」が17.9%、「病院などの医療施設」が12.5%となっている。

